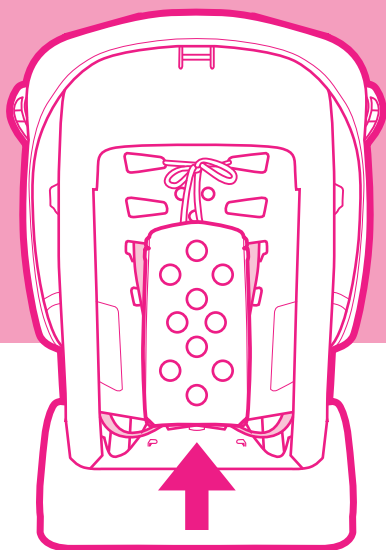


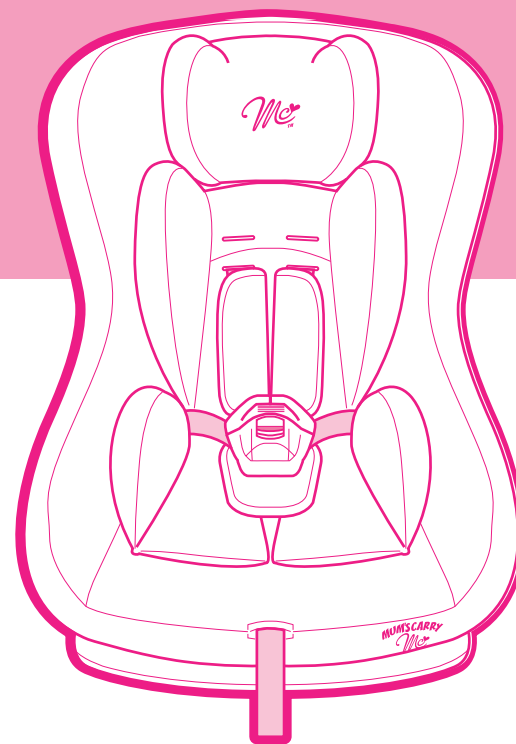
Me
レジエ
チャイルドシート



この取扱説明書は、ここに
保管してください

Me
レジエ
チャイルドシート

取扱説明書



ECE R44/04
UNIVERSAL
0-18kgY
E1
04301313
LB-363

ご使用前に必ずよくお読みください。いつでも
ご確認できるように大切に保管してください。

保証書付

※保証書は中面にあります。

シートが傷むおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けないで
ください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

企画・輸入元



株式会社 **シーエー** 産商

本社：〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51
TEL：0568-28-5333 FAX：0568-28-5340

www.ca-sansho.co.jp

MADE IN CHINA 2017-09

ご使用になる前に、安全のため必ず お読みください。

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、最新のヨーロッパの安全基準で試験を受け、規則第44号の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除き大抵の車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻取装置付シートベルトを装備している座席にのみご使用できます。(2点式シートベルトの座席にはご使用できません。)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または(株)シーエー産商まで、お問い合わせください。

ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害の恐れがある事を記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

 図に表示している行為の禁止を示しています。



本装置をご使用いただけるお子様の目安

本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用前にお子様にあった取り付け方法を確認し、ご使用ください。

ベビーシート

〈グループ0+〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトでお子様を拘束します。

●年齢の目安：新生児～1歳半頃

〈適応体重〉

2.5kg以上 **13kg**未満

〈身長の目安／60～80cm未満〉

車両の進行方向に対し

**必ず
後ろ向き**で
使用します。



チャイルドシート

〈グループI〉

●年齢の目安：1歳～4歳頃

〈適応体重〉

9kg以上 **18kg**以下

〈身長の目安／75～100cm以下〉

車両の進行方向に対し

**必ず
前向き**で
使用します。



警告

お子様の体重が9kgを超えるまでは、前向きでの使用はお控えください。また、決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。

補足

年齢・身長の目安は、あくまでも“目安”です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用になれません。

インナークッションご使用期間

- 7kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。
- 取り外してよい条件は7kg以上(6ヶ月頃)で、腰と首がすわっていること。
- インナークッションの取り外し方は、本装置の背面下にあるベルト連結金具から肩ベルトを外して、インナークッションから肩ベルトを抜いて取り外してください。(P8「肩ベルトの調節」左下図参照)



取り付けできない座席

- シートベルトが付いていない座席
- チャイルドシートで運転に支障をきたす座席
- 2点式シートベルトが付いている座席
- 横向き・後ろ向きの座席
- エアバッグが付いている座席

取り付けできるシートベルト

ELR式シートベルト〈緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ゆっくり引き出すと自由に入ります。急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

AELR式シートベルト〈チャイルドシート固定機能付シートベルト〉

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

NLR式シートベルト〈非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

ALR式シートベルト〈自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

マニュアル式シートベルト

巻き取り装置のない3点式シートベルト。

取り付けできないシートベルト

腰ベルトに付いたELR式シートベルト

腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

2点式シートベルト

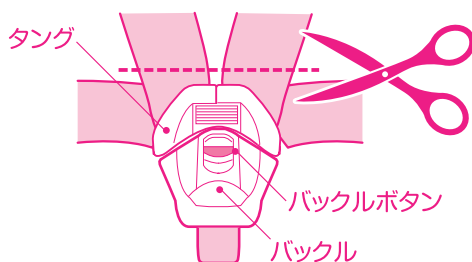
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。

パッシュシートベルト

前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

〈緊急時のご対応について〉

緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。



警告

- ①本装置は『取扱説明書』通りに取り付けしてください。
- ②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- ③本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると、首に巻き付き、窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- ④お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように、時々ロック部分の確認をしてください。
- ⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついたら場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
- ⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
- ⑦拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。
- ⑧お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせ、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- ⑨走行中のお子様の乗せ降ろし(乗り降り)は、絶対にしないでください。
- ⑩本装置を取り付け後、車両の座席の移動や調整をしないでください。固定が緩む可能性があります。
- ⑪本装置の部品やベルト等を、鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると、機能が正常に働かない場合があります。
- ⑫お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- ⑬本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。

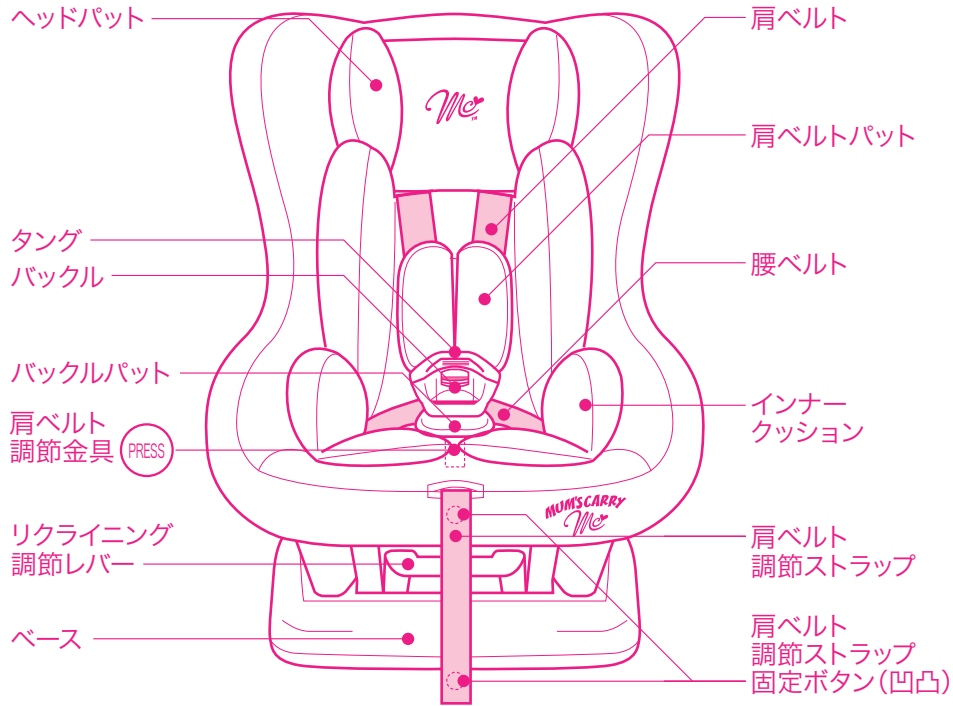


注意

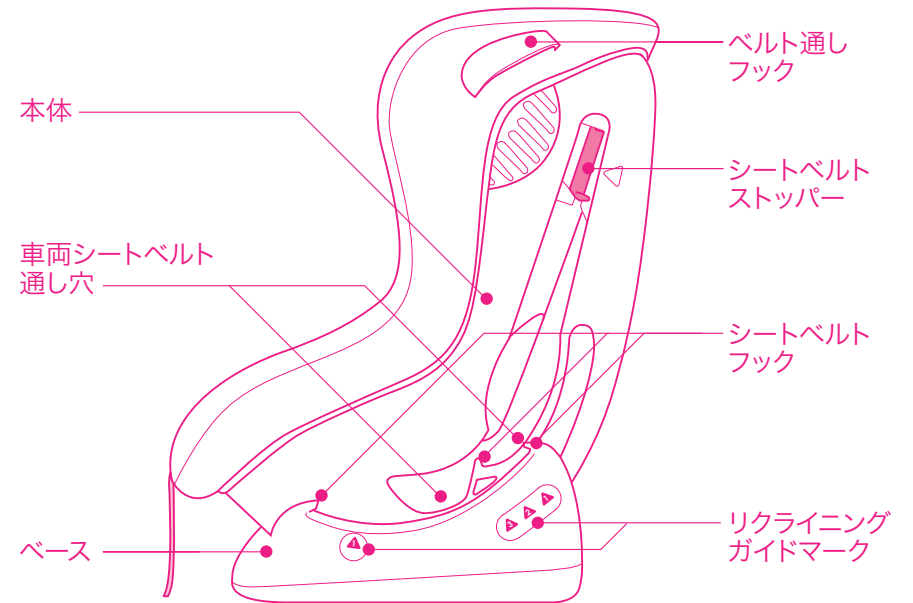
- ①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- ②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様やけがをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂・レザー部分に触れて、熱くないかを確認してからご使用ください。
- ③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がった時、中腰にさせないようにしてください。
- ④本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。
- ⑤車両内に傷害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- ⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- ⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- ⑧肩ベルト調節ストラップを上引くと、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

各部の名称

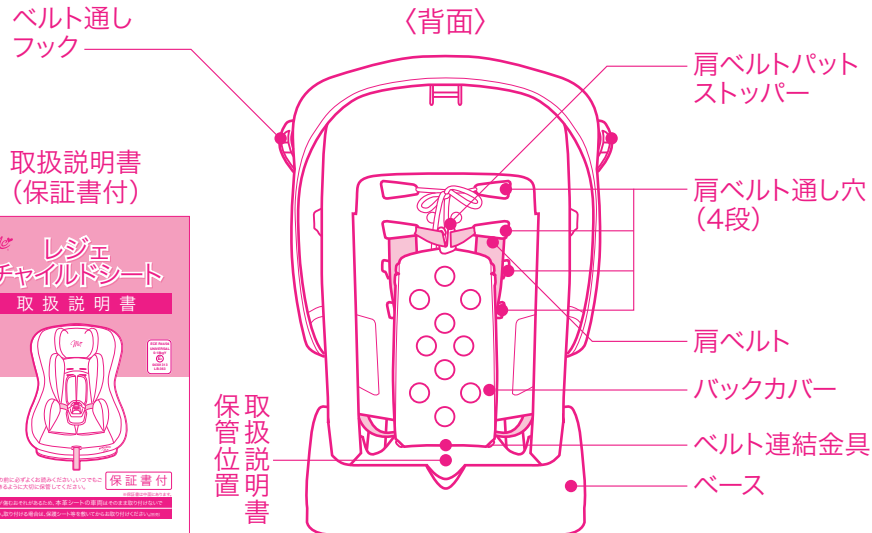
〈正面〉



〈側面〉



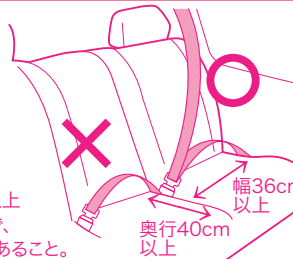
〈背面〉



車両取り付け可能箇所

- 取り付け可能
- × 取り付け不可
- △ 3点式シートベルトの場合取り付け可能

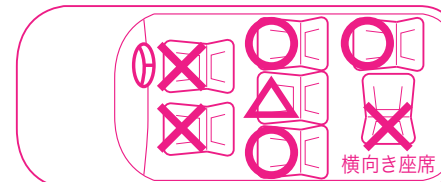
※座席の幅36cm以上
奥行40cm以上で、
座面がフラットであること。



●助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、必ず後部座席に取り付けてください。

●進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。事故の際、本装置の機能が有効に発揮できません。

●2点式シートベルトの座席は、取り付けられません。

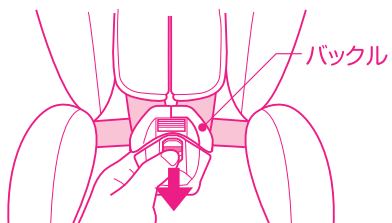


本装置の使い方

バックル・タングの使い方

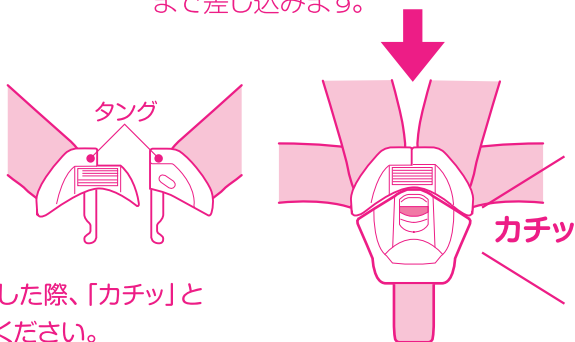
1

バックルボタン (赤いボタン) を押して、タングをバックルから解除します。お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



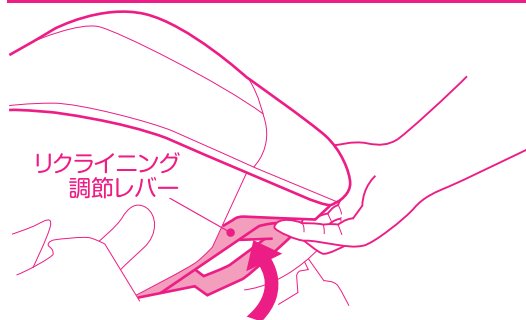
2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、タングを真ん中に合わす。タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

リクライニングの調節

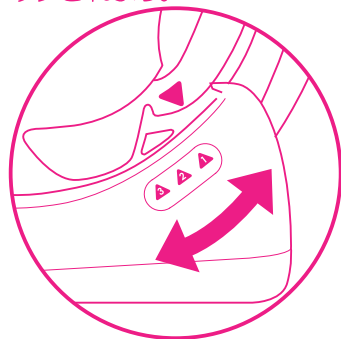
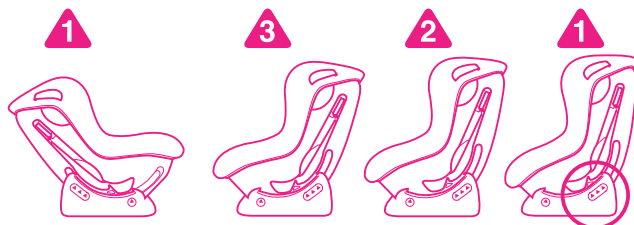


リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク▲ (前向き3段階・後ろ向き1段階) を適正な位置に合わせてください。

リクライニング調節レバーを離すと、本体がロックされます。

後ろ向き

前向き



肩ベルトの調節

1

肩ベルトを締め付ける場合は、肩ベルト調節ストラップを引くと締まります。肩ベルト調節金具を押しながら肩ベルトパットの下の肩ベルトを手前に引くと緩みます。



2

肩ベルトの高さを調節する場合は、バックカバーを外し、そして肩ベルトパットストッパーを取り外します。肩ベルトを緩め、本装置背面にあるベルト連結金具から肩ベルトを取り外し、適正な位置の肩ベルト通し穴に通してください。



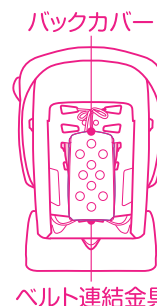
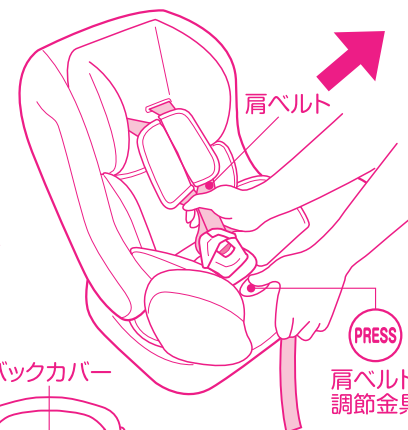
3

肩ベルトの高さの調節ができましたら、肩ベルトパットストッパーと肩ベルトを、肩ベルト通し穴に通し固定します。(右図) 肩ベルト調節ストラップを手前に引っ張り、肩ベルトを締め、お子様をしっかりと拘束します。

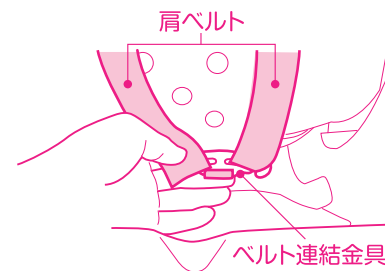
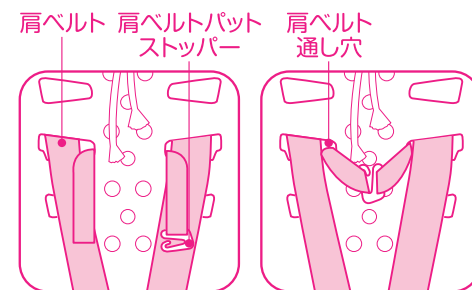
※肩ベルト調節ストラップの端は、固定ボタンで留めることができます。

補足

調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。



- 後ろ向き使用時の場合
お子様の肩よりやや低い位置になるようにしてください。
- 前向き使用時の場合
お子様の肩の高さと同じかやや高い位置になるようにしてください。



ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

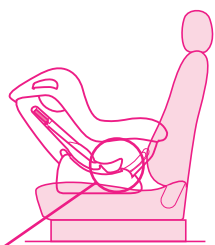
〈グループ0+〉…… 適応体重 **2.5kg以上13kg未満**

取り付け方 (後席左側での取り付け例)

1

リクライニングガイドマーク▲(青1)に合わせてください。

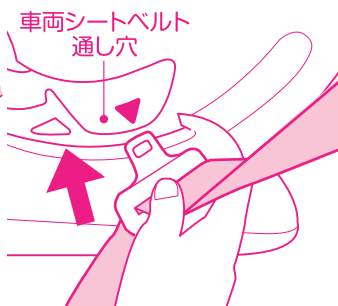
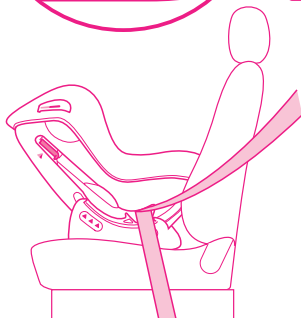
車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



- 注意** 本装置と車両の背もたれ・座席との間に隙間がないようにする。
- 警告** エアバッグ装着の助手席には取り付けられません。

2

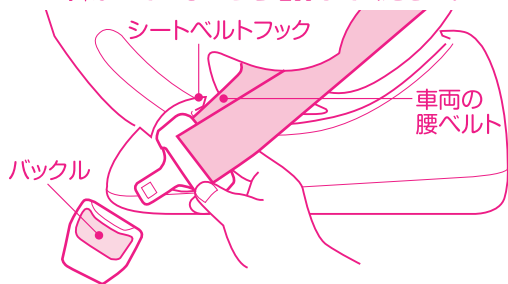
車両のシートベルトを、本装置の本体とベースとの間の車両シートベルト通し穴に通します。



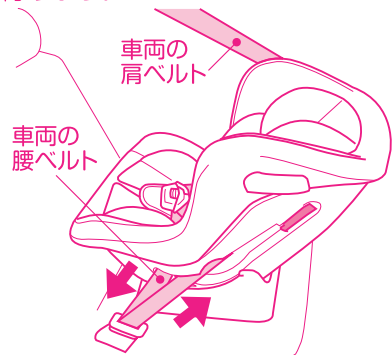
3

反対側の車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。

※車両の腰ベルトがシートベルトフックに掛かっていることを確認してください。



バックルにセットした際、本装置を車両のシートに押し付け腰ベルトを締め付けます。

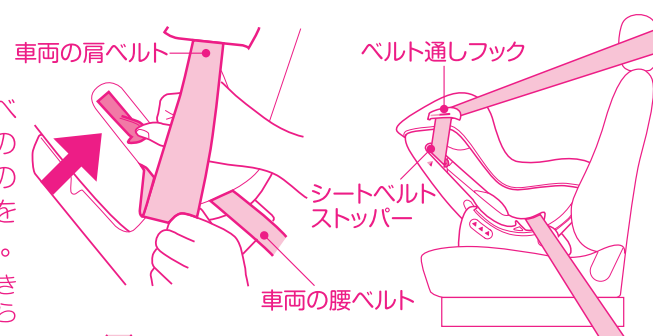


〈身長目安/60~80cm未満〉

4

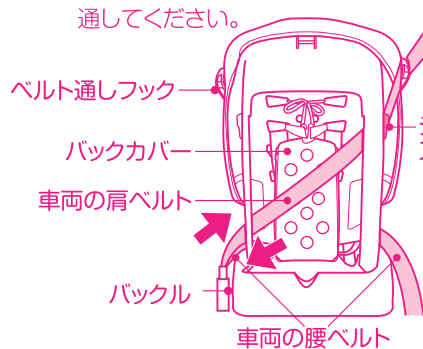
右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを通しベルトを引っ張り上げてください。

※車両の肩ベルトを通すときは、バックカバーの上から通してください。



5

本装置のベルト通しフックに、車両の肩ベルトを通してください。

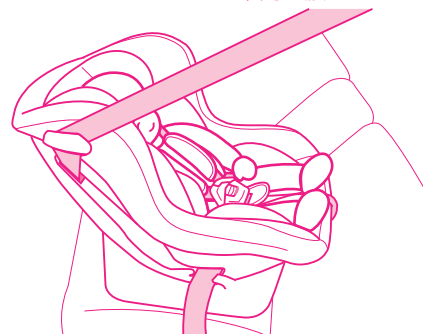


補足

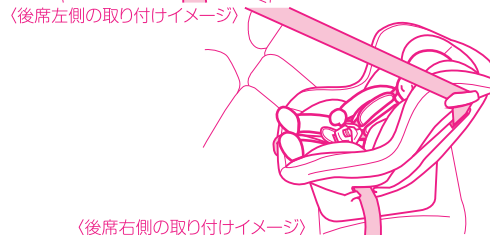
背もたれや座席の調整ができる車両では、車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席を調整して、再度取り付けてください。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが確実にセットされていること。
- 本装置を左右に揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。安定していない場合は本装置を車両のシートに押し付けて、車両の腰ベルトを締め付けてください。



〈後席左側の取り付けイメージ〉



〈後席右側の取り付けイメージ〉

チャイルドシート(前向き)としての使い方

〈グループI〉…………… 適応体重 **9kg以上18kg以下**

〈身長目安/75~100cm以下〉

取り付け方 (後席左側での取り付け例)

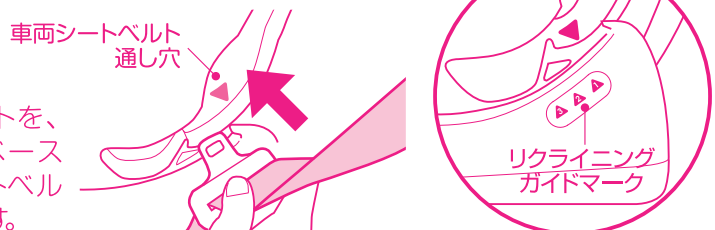
1

リクライニングガイドマーク▲(赤1~3)に合わせ、適正な位置にセットしてください。車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



2

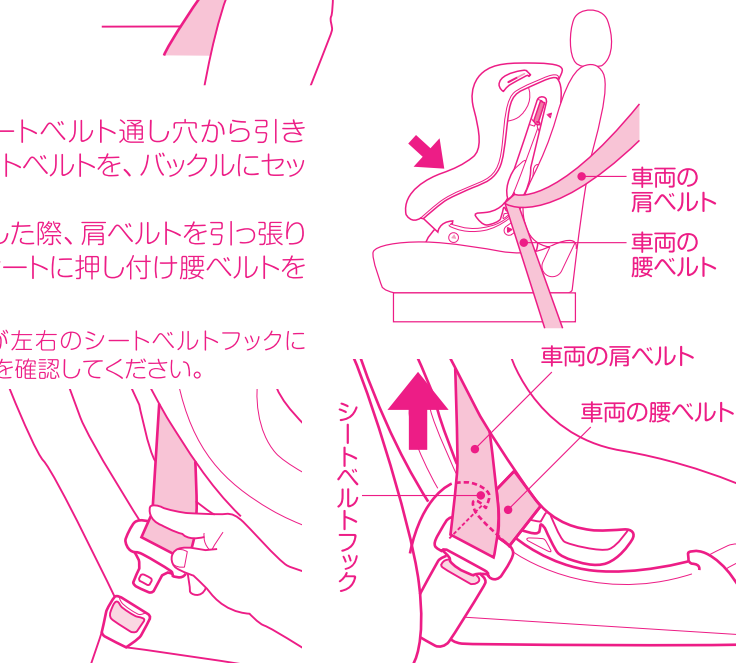
車両のシートベルトを、本装置の本体とベースとの間の車両シートベルト通し穴に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴から引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。バックルにセットした際、肩ベルトを引っ張り本装置を車両のシートに押し付け腰ベルトを締め付けます。

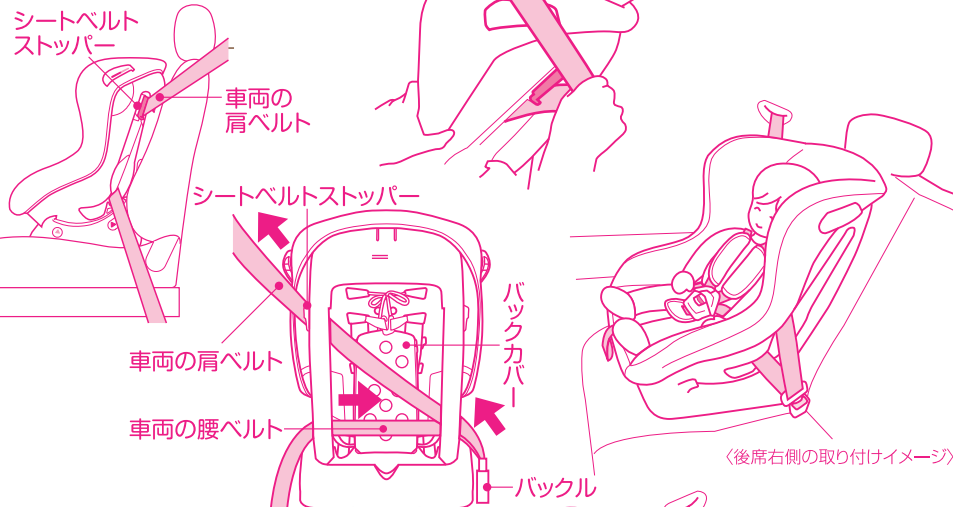
※車両の腰ベルトが左右のシートベルトフックに掛かっていることを確認してください。



4

右図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを通しベルトを引っ張り上げてください。

※車両の肩ベルトを通すときは、バックカバーの上から通してください。



〈後席右側の取り付けイメージ〉

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが確実にセットされていること。
- 本装置を左右に揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。安定していない場合は本装置を車両のシートに押し付けて、車両の腰ベルトを締め付けてください。



上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

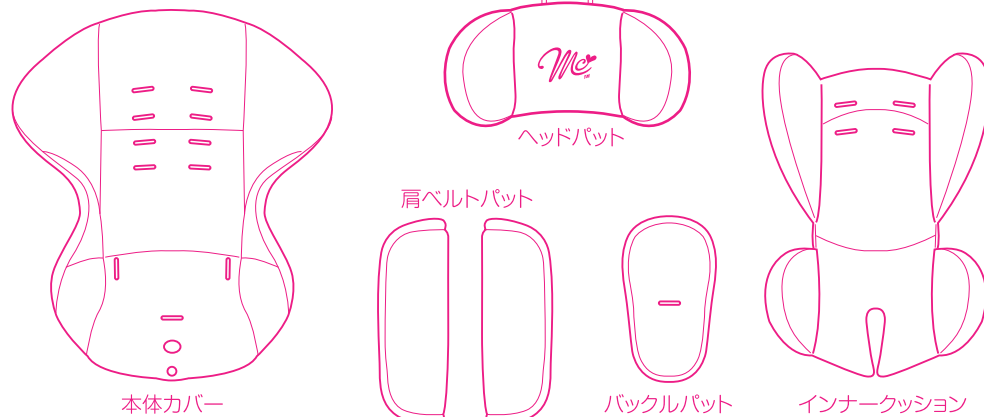
〈後席左側の取り付けイメージ〉

各部のお手入れ

本体カバー・パット

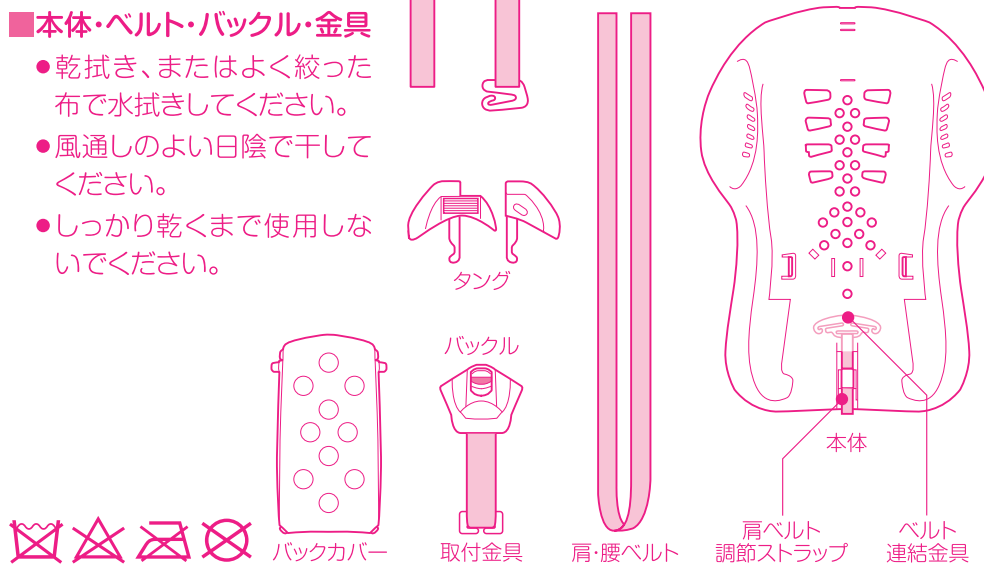
■カバー・パット

- 中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。
- 風通しのよい日陰で干してください。



■本体・ベルト・バックル・金具

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。



バックカバー